

第 8 回 (2015 年度第 3 回) 極限宇宙研究拠点 (CORE-U) セミナー

日時 : 2015 年 5 月 18 日 (月) 15:00 ~
場所 : 広島大学 理学研究科 E203 大会議室

Guillaume Batigne 博士 (仏 SUBATECH 研究所)
“Quark Gluon Plasma with ALICE
– looking forward : the MFT”

ALICE 実験は CERN LHC 加速器においてパートン非閉込相 (QGP) の探求を主眼とする唯一の実験である。2009 年にデータ収集を開始し、2 年間の加速器改修を経て約 2 倍の衝突エネルギーでの実験が始まろうとしている。並行して 2019 年導入予定の検出器高度化の準備も進む。本講演では、特に前方領域における重クォークとクォークoniaの生成に焦点を当て、QGP の物理と ALICE 実験の成果、および ALICE 実験の性能向上のため設計中の前方ミュオン粒子検出用シリコン半導体検出器 MFT について紹介する。(以上抄訳)

広島大学極限宇宙研究拠点 (Core-U) セミナー 世話人 志垣賢太、水野恒史、両角卓也
問合せ先 : shigaki@hiroshima-u.ac.jp、082-424-7377